

浦戸湾の自然誌

第37号

Wildlife in Urado Estuary

No. 37

シジミ科 ヤマトシジミ

Corbicula japonica



2004年7月19日国分川で採集。

ミとよく似ていますが、ずっと小型で、殻長が3 cmほどにしかありません。

ヤマトシジミの親は純淡水や純海水でも生活できますが、そこで産卵することはできません。通常の海水の塩分濃度はおよそ3.3%ですが、ヤマトシジミが好む塩分

日本の汽水域で最も普通に見られる二枚貝です。日本に産するシジミの他の仲間はマシジミとセタシジミです。これらは純淡水域に生息します。マシジミは県内の河川の中流から下流にかけての川床に生息しており、これも普通種です。ヤマトシジミよりはるかに小さく、色彩は黄色をおびています。セタシジミは瀬田から分かるように、琵琶湖固有のシジミです。色彩はヤマトシジ